



# 国際数理科学協会会報

No.53/2007.9

編集委員長 藤井正俊

## 目次

- |                                       |                             |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| * ミネソタ数理科学研究所<br>2007 - 2008のテーマプログラム | * 賛助会員制度（寄付制度）の<br>発足と二つの基金 |
| * 日本の脳科学研究会                           | * 機関会員募集                    |
| * 年会及び理事会の報告                          | * お知らせ及び依頼                  |
| * ISMS 研究集会                           | * 新会員入会申込用紙                 |
| * IVMS 国際研究集会のテスト                     | * 会員募集                      |

## \* ミネソタ数理科学研究所2007 - 2008のテーマプログラム

米国 NSF (National Science Fund) 直轄の数理科学部門 DMS(Division Mathematical Science)の10研究所(会報38号をご参照下さい)は最先端を行く研究所であるが、その中の1つ昔偏微分方程式の研究の中心であったミネソタ研究所は、この程2007年 - 2008年の年間のテーマプログラムとして“Mathematics of Molecular and Cellular Biology”を行うことを告知しています。

現在の最も重要なかつ時代の最先端の要求に応じようとする、この研究所の企画に、敬意を払うと同時に、その内容がどのようなものになるのか?大変興味のある事柄で、注視し期待される次第です。

このprojectは下の4種のFellowshipで実行される予定である。

- .IMA New Directions Visiting Professorships
- .IMA Postdoctoral Fellowships
- .IMA Industrial Postdoctorial Fellowships
- .IMA General Memberships

.は2007-2008 academic yearに米国のmid-career facultyに、分子生物学、細胞生物学関連の数学を結ぶプログラムに、没頭する環境を提供するもの。

.は分子生物学、細胞生物学の数学についての応用視点、コンピュータ観点興味を持つポストドクの人々に優れた機会を提供するもの。

.はIMAと工学のfundを受け、50%はIMAテーマの自己の研究、50%は企業の研究を2007年8月31日にstartし2年間の間行うもの。

.IMA以外で雇用されている数学者に2007年9月~2008年6月までの1年間のIMAでの居住と研究施設等支援を行うものである。

詳しくはウェブサイト([www.ima.umn.edu/docs/membership.html](http://www.ima.umn.edu/docs/membership.html))をご参照下さい。

## \* 寄稿

前号 52 号（2007 年 7 月発行）には、藍野大学の佐藤俊輔先生の大変優れた解説「日本における数学的脳機能研究」が掲載されています。2007 年の時点における日本の脳機能研究の現状を知る為に、9 月 10 日～12 日の 3 日間、横浜パシフィコで行われた第 30 回日本神経科学会、第 50 回日本神経化学会、第 16 回日本神経回路学会の合同学会：Neuro2007 について、大会長の田中啓治氏、高坂新一氏、大森隆司氏が述べられておられる開催の挨拶を紹介します。

「脳機能の解明は 21 世紀における自然科学最大の課題の一つであり、老人性痴呆・神経難病などの予防と治療、ブレイン・コンピューターインターフェースの開発、健全なところと社会への適合など、現代社会が直面する多くの問題に深く結びついています。その中で、我が国の脳研究は米国・欧州などと競争・協力しつつ、分子からシステムまで多くの分野で飛躍的な発展を遂げつつあります。Neuro2007 では、我が国における脳研究が科学・技術の広い分野との協力と融合を進め、世界との繋がりをますます深めるようになることを目指し、

- 1) 脳科学の広い分野からの参加を推進する、
- 2) アジアを含めた国際化に努める、
- 3) 若手研究者を重視する、
- 4) 特別講演、シンポジウム、ポスター発表に加えて一般口演発表を重視する、

を重点課題としました。基礎的研究、病態研究、教育あるいは工学的応用との学際的研究など脳研究の広い分野からのシンポジウムと一般発表演題を募集します。」・・・後略

会には**著名な海外研究者が多数**講演されると同時に、若い外国人研究者 43 名が Travel Award を得て、Poster Session 等で研究発表を行っています。Official Language は英語で参加者約 4000 名、日本の脳研究の推進に大変役立つものでした。

詳しくは Neuro2007 のウェブサイト(<http://www2.convention.jp/neuro2007/jp/greeting/index.html>)をご参照下さい。

## 年会及び理事会の報告

2007年度理事会・総会は、8月8日1時半より大阪教育大学天王寺キャンパスにおいて開催された。議事内容は以下の通りである。

(1) 会費の改定：2008年度より会費を次の表のように改定することが承認された。

Categories	国内会員	海外会員	途上国会員
単年度A会員	¥9,000	US\$75, €60	US\$45, €36
3年A会員	¥24,000	US\$200, €160	US\$117, €93
単年度S会員	¥5,000	US\$40, €32	US\$27, €21
3年S会員	¥12,000	US\$100, €80	US\$71, €57
生涯会員	¥90,000	US\$740, €592	US\$616, €493

(2) 2006年度決算および2007年度予算案(次表)が承認された。

2006年度 決算予算表

(日本数理科学協会)

(国際数理科学協会)

(06/1/1-06/12/31)

### 収入

科目	04年度決算	05年度決算	06年度予算	06年度決算	07年度予算
前年度繰越金	3,648,679	3,359,939	1,231,173	1,231,173	1,033,195
刊行物頒布代(書店)	2,128,094	1,804,414	2,000,000	1,758,600	1,800,000
会費					
機関会員 A(旧協力校)	3,100,000	1,400,000	1,290,000	689,790	690,000
機関会員 B(交換誌)			1,200,000		300,000
賛助会員(機関会員)	1,833,265	1,581,765	1,500,000	1,231,265	2,000,000
正会員(国内)	784,200	1,901,500	800,000	804,330	800,000
SCM 頒布代					
正会員(国外)	18,225	107,112	100,000	77,740	77,000
ページチャージ(国内)	1,153,675	677,023	700,000	532,299	500,000
ページチャージ(国外;円払い)	33,440	20,900	20,000	71,345	70,000
IT 機器積み立て金取り崩し		3,000,000	3,000,000	3,000,000	
(イ)減価償却積立金取り崩し分	3,000,000	800,000	710,353	433,649	200,000
(ロ)回転資金取り崩し分	342,288	567,581	297,474	277,825	384,805
預金利子	323	258		347	
定期解約(\$→¥)			3,680,000	4,350,000	5,000,000
雑収入				4,200	
合計	16,042,189	15,220,492	16,529,000	14,462,563	12,855,000

### 支出

科目	04年度決算	05年度決算	06年度予算	06年度決算	07年度予算
通信交通輸送費(イ+ロ+ハ)	2,862,923	3,570,412	3,900,000	3,865,870	3,665,000
(イ)編集通信交通費	2,158,998	2,359,980	2,400,000	2,563,100	2,300,000
(ロ)査読通信費		204,909	200,000	65,250	65,000
(ハ)抜刷等輸送費	703,925	1,005,523	1,300,000	1,237,520	1,300,000
印刷費	1,516,525	1,173,950	1,200,000	1,394,870	1,400,000
組版委託費	1,395,780	972,700	900,000	1,048,300	900,000
SE 委託費	838,875	793,800	800,000	669,700	700,000
消耗品代	41,327	45,022	45,000	26,302	30,000
備品代(OA 機器 soft 等)	638,254	1,380,422	600,000	359,486	400,000
人件費	2,868,320	3,621,775	2,800,000	3,477,100	3,500,000
借事務所代	1,358,820	1,341,123	1,350,000	1,345,142	1,350,000
電話代	707,084	714,711	700,000	707,393	700,000
振込料	15,025	19,110	20,000	9,820	10,000
会報代(含送料)					
研究集会費		7,700	20,000	51,769	50,000
コピー費	106,406	51,120	294,000	195,791	150,000
基礎財産へ繰入					
予備費等					
次年度回転資金	332,911	297,474		277,825	
次年度繰越金	3,359,939	1,231,173		1,033,195	
合計	16,042,189	15,220,492	16,529,000	14,462,563	12,855,000

借 方			貸 方		
科 目	期 首	期 末	科 目	期 首	期 末
固定資産			協会活動予備資金	12,794,476	
流動資産	33,760,238	7,574,635	出版基盤強化積立金	3,000,000	1,100,000
定期預金	2,000,000	2,000,000	清水基金	1,000,000	1,000,000
\$国債1	12,794,476		TOTAL INDEX 積立金	1,000,000	1,000,000
\$国債2	6,359,500		設備更新積立金	7,800,000	1,000,000
借事務所保証金	1,077,615	1,077,615	IT 機器積立金	3,359,500	0
普通預金	11,231,173	4,219,195	事務所移転積立金	1,077,615	1,077,615
現金	297,474	277,825	事務機購入積立金	1,500,000	500,000
			減価償却積立金	700,000	400,000
			回転資金	297,474	277,825
			繰越金	1,231,173	1,219,195
合 計	33,760,238	7,574,635	合 計	33,760,238	7,574,635

外貨会計

借 方			貸 方		
科 目	期 首	期 末	科 目	期 首	期 末
固定資産			協会活動予備資金		\$154,112.00
流動資産	\$102,693.24	\$507,847.59	IT 機器積立金		\$48,286.00
定期預金		\$101,020.22	\$-¥準備金		
普通預金	\$102,693.24	\$16,827.37	繰越金	\$102,693.24	\$117,847.59
\$国債1		\$154,112.00			
\$国債2		\$48,286.00			
合 計\$	\$102,693.24	\$320,245.59	合 計 \$	\$102,693.24	\$320,245.59
合 計(ユーロ)	€ 5,669.21	€ 3,904.96	合 計(ユーロ)	€ 5,669.21	€ 3,904.96
合 計¥	¥399,185	¥360,290	合 計 ¥	¥399,185	¥360,290

\*清水基金は2007年9月1日より功刀基金と共に新たに設立する基金(International Society for Mathematical Sciences Contributions)の中の PRISE 基金となります(6 ページを参照してください)。

(3) 2006年度事業報告および2007年度事業予定は次のとおりである。

2006年度

- (イ) 英文誌 Scientiae Mathematicae Japonicae を6回発行した。
- (ロ) 国際数理科学協会会報を6回発行した。
- (ハ) Notices from the ISMS を6回発行した。
- (ニ) 8月に年会を開催した。
- (ホ) 国内外と雑誌の交換を行った。

2007年度も2006年度に行った上記事業を実行する予定。

(4) 2008年度年会および研究部会の開催について

上記の件の会場責任者は、大阪府大の栗木先生である。日時等重要なお知らせ後日会報等で発表される。

(5) 寄付金・基金の創設

本年7月及び9月の会報及び、Notice で趣旨説明がなされていたもので、来る2007年9月1日より受け入れを開始する。なお、これらの資金は北川賞、功刀賞のメダル作成費等及び国際研究交流基金に使用される。

(6) その他

会員増加のための施策について議論した。例えば、会員に対する大幅なページチャージ代の割引、など。

\* 国際数理科学協会 2007年度年会、研究集会

(1) 「確率モデルと最適化」部会研究集会

(近畿大学経営学部 寺岡義伸先生、大阪府立大学大学院理学系研究科 北條仁志先生)

プログラム

13:30-14:15 「2人売り出しのタイミング・ゲーム」

林 芳男(近畿大学経営学部)

北條仁志(大阪府立大学大学院理学系研究科)

- 寺岡義伸（近畿大学経営学部）
- 14:15-15:00 「大規模小売業及び小規模小売業における最適販売価格の決定  
：限定合理的な消費者の行動を考慮した場合」  
川勝英史（流通科学大学情報学部）  
三道弘明（大阪大学大学院経済学研究科）
- 15:15-16:00 「市町村合併における新庁舎の配置決定問題」  
大角盛広（神戸学院大学経営学部）  
塩出省吾（神戸学院大学経営学部）
- 16:00-16:45 「ソフトウェアの最適若化スケジューリングに対する  
ノンパラメトリック予測理論」

林坂弘一郎（神戸学院大学経営学部）  
土肥 正（広島大学大学院工学研究科）

この研究集会は、日本オペレーションズ・リサーチ学会  
「不確実性環境下での意思決定の理論と応用」研究部会  
担当主査：菊田健作（兵庫県立大学経営学部）  
幹事：川勝英史（流通科学大学情報学部）

と合同で開催された

(2) 「統計的デザイン，組合せ的デザインとその周辺」(大阪府立大学 栗木進二先生)

- 11:00-11:30 「あるコントロールをもつ incomplete split-plot designs」  
木村隆志（大阪府立大学大学院工学研究科）
- 11:30-12:00 「不完備順位付け問題における BIB designs」  
魚住浩之（大阪府立大学大学院工学研究科）

(3) 「統計的推測と統計ファイナンス」

(大阪大学大学院基礎工学 熊谷悦生先生、関西学院大学商学部 地道正行先生)

#### プログラム

- 10:00-11:00 藤井孝之(大阪大学)  
『変化点回帰モデルにおける最尤推定量の漸近的性質』
- 11:00-12:00 熊谷悦生(大阪大学)  
『時系列モデルにおけるファイナンスデータの解析』
- 13:30-14:30 地道正行・村上桌(関西学院大学)  
『R による金融・財務データベースへのアクセス』
- 14:30-15:30 林利治(大阪府立大学)  
『Martingale 残差に基づく proportional hazards model の診断法について』
- 15:30-15:40 (休憩)
- 15:40-16:40 稲垣宣生(大阪大学名誉教授)  
『多次元正規分布のオーサント確率と相関係数』

#### \* ISMS 研究集会

代表者 古澤仁，高井利憲

お陰さまで研究部会「代数，論理，幾何と情報科学研究集会」を無事開催することができましたので，報告致します。9月3日，4日に研究部会「代数，論理，幾何と情報科学研究集会」を鹿児島大学理学部にて開催しました。参加者は21名，講演数11件でした。来年度も鹿児島で開催することになりました。

参加者リストとプログラム

出席者（21名）

高井利憲(産業技術総合研究所) 古澤仁(鹿児島大学) 西澤弘毅(東北大学) 吉田聡(産業技術総合研究所)  
河原康雄(九州大学) 石田俊一(九州大学) 長谷川真人(京都大学) 福崎賢治(鹿児島国際大学) 溝口佳寛  
(九州大学) 岡本圭史(産業技術総合研究所) 白旗優(慶応義塾大学) 高村博紀(産業技術総合研究所) 井  
口修一(九州大学) 木下佳樹(産業技術総合研究所) 永山和彦(鹿児島大学) 津曲紀宏(鹿児島大学) 立木秀  
樹(京都大学) 青山究(鹿児島大学) 伊藤稔(鹿児島大学) 藤尾光彦(九州工業大学) 與倉昭治(鹿児島大学)

## プログラム

9月3日(月)

- 13:40 ~ 14:15 岡本圭史(CVS/AIST)  
演題：zero-one Law について
- 14:15 ~ 14:25 休憩
- 14:25 ~ 14:55 藤尾光彦(九州工業大学)  
演題：Morphological Analysis of 1D Cellular Automata
- 14:55 ~ 15:30 白旗優(慶應大学)  
演題：The subobject classifier in higher-order affine logic
- 15:30 ~ 15:50 休憩
- 15:50 ~ 16:25 吉田聡(CVS/AIST)  
演題：一点集合の台を持つ一般関数の表現に関する構成的考察
- 16:25 ~ 17:10 立木秀樹(京都大学)  
演題：フラクタル立体のスウドクの色づけ
- 17:10 ~ 17:20 休憩
- 17:20 ~ 18:00 高村博紀(CVS/AIST)  
演題：Modal substructural logic & Residuated lattices with operators
- 18:30 懇親会

9月4日(火)

- 10:00 ~ 10:40 長谷川真人(京都大学数理解析研究所)  
演題：On Traced Monoidal Closed Categories
- 10:40 ~ 10:50 休憩
- 10:50 ~ 11:35 西澤弘毅(東北大学)  
演題：パスモデルの代数的性質について
- 11:35 ~ 12:00 木下佳樹(CVS/AIST)  
演題：Relation algebraic semantics of reversible loop programs
- 12:00 ~ 13:30 昼休憩
- 13:30 ~ 14:00 石田 俊一(九州大学大学院 システム情報科学府 情報理学専攻)  
演題：Formal Concept in Dedekind category
- 14:00 ~ 14:40 河原 康雄(九州大学)  
演題：関係圏におけるブール代数と Stone 写像

### \* IVMS 国際研究集会のテスト

内外研究集会の活発化の為に Infrastructure の整備に目鼻がついてきています。

- (1) 国内は参集会場に旅費、ホテル代等なしに、参画できる soba system を使う
- (2) 海外会場とは阪大中ノ島センターの「ITUの国際規格を満たす system(Tanberg 6000 使用)を使う。
- (3) 内外両者を阪大中ノ島センターで接続する。
- (4)

上の(1)に書きました soba system の使用説明を会報 51 号に掲載しましたが、印刷が不鮮明のため少し詳しいカラー印刷の説明文があります。Symposium や joint meeting を企画される各位に、又ご希望の方に soft をお送りします。pbls5@jams.jp 宛ご連絡下さい。

以上の中で、(1)及び(2)のテストはうまく作動しました。(3)のテストはこれからですが、成功が充分見込まれています。

猶、(2)項の、海外大学、研究所、学術団体、研究集会等との研究交流のテストをされたい方は、交流先のIPアドレスをつけて事務局にお知らせ頂ければ([scm4j@jams.jp](mailto:scm4j@jams.jp))、先方との接続テストをさせていただきます。

IVMS 委員会

## \* 賛助会員制度（寄付制度）の発足と二つの基金

今回 Bylaws2007(July)の賛助会員制度(Contributing Member)が発足することになりました。それで、本年8月1日より下記の二つの基金を発足させ、御寄付頂いた方の御指示に従い、各基金による事業の推進に役立たせたいと考えます。一口1万円より何口でも、また一口未満の御寄付も有難くお受け致します。ある基準を超過した部分は税法上の優遇措置を適用する事を考えています。

下記の郵便振替口座にてお受け致します。

00960-3-206607 国際数理科学協会

### (1) ISMS 授賞基金

ISMS 賞、功力賞、北川賞についての授賞メダルの作製、受賞者への送付の費用等授賞に関する費用に支出

### (11) 国際研究交流基金

海外及び国内の研究集会参加 site の会場費、研究交流設備の使用料の支出

猶、御寄付の種類は、御寄付の累計額が

(1) 50万円(又は\$5000)以上

(2) 10万円(又は\$1000)以上

(3) 5万円(又は\$500)以上

(4) 1万円(又は\$100)以上

(5) 1万円(又は\$100)未満

の5種類とし、感謝状を贈呈すると共に御氏名を(匿名希望の方は除き)www.及び会報、Notices 欄に掲載させていただきます。

**\* 機関会員募集**

機関会員の特典としては

- (1)本屋より SCMJ を購入すると、print 版 45,000 円であるが、機関会員になると、print 版 33,000 円で online も見ることができます。
- (2)会員でない 2 名の方を準会員として登録することができます。これにより、page charge (別刷代金) が会員と同じ扱いになります。
- (3)上の準会員 2 名は online で SCMJ を見る事ができます。
- (4) Net を用いて国際研究会を催す時、アナウンス、アブストラクトの作成などお助けいたします。  
大学、研究所等が協会から SCMJ 誌の直接購入すると、今年から online も無料で見るできるようになりました。

機関会員の申込用紙。適当にお使い下さい。

**Application for Academic and Institutional Member of ISMS**

<b>Subscription of SCMJ</b>	<input type="checkbox"/> Print + Online (¥33,000, US\$300)
<b>University (Institution)</b>	
<b>Department</b>	
<b>Postal Address</b> where SCMJ should be sent.	
<b>E-mail address</b>	
<b>Person in charge</b>	Name: Signature:
<b>Payment</b> Check one of the two.	<input type="checkbox"/> Bank transfer <input type="checkbox"/> Credit Card (Visa, Master)
<b>Name of Associate Members</b>	1. 2.

上にも書きましたように、2006 年より発効の機関会員制度により各機関会員に所属の研究者 2 名を会費無料で準会員として登録しますと、準会員が SCMJ に accept された論文を掲載するときの page charge (別刷代金) は会員と同額とすることにしました。

この新しい制度の機関会員の P.R. を、日本国内外 (BRICS 諸国など) 400 大学に向けて、昨年 1 月から始めています。同時に今迄の SCMJ 投稿者で会員でない方、また、個人会員および (機関会員の) 準会員加入の P.R. も始めています。

両者の P.R. について会員の御支援 (P.R 先大学の教員の方の名前ご連絡頂く) を御願ひする次第です。

**\* お知らせ及び依頼**

- (1)外国との遠隔集会開催などについては、阪大中之島センターのTV会議システムが便利です。協会に連絡を頂ければ利用料金を負担致します。従来に比べて使い勝手も良くなり新しいサービスの導入も予定されているようです。( <http://www.onc.osaka-u.ac.jp> をご参照下さい)。一方大がかりな遠隔会議システムが必要でないという点では、SOBAを用いた国内での遠隔会議も考えられます。使用説明は会報No.51 にあります。国内での利用は無料です。遠隔会議、集会のためには、使い慣れておくということも大事です。SOBAの使用実験のアナウンスなども致しますので、お気軽にご参加下さい。
- (2)会報、Notices が今まで以上に充実しています。昨年からは会報、Notices をともに年6回発行しています。特に Notices では、著名な外国人による種々の数学に関する寄稿があります。ご一読下さい。近くの方への会員勧誘にも利用して下さい。



**\* 新会員入会申込用紙**

個人会員の特典としては

- (1) online で SCMJ を見ることができます。
- (2) 論文の掲載時に page charge(別刷代金)が随分と安くなる。
- (3) Net を用いて国際研究集会を催す時、アナウンス、アブストラクトの作成などお助けいたします。6,000 円を支払うと、hard-copy の SCMJ が一年を通じて手に入ります。
- (4) 10 年間個人会員を続けると、国内会員は 70,000 円、外国会員は US\$600、途上会員は US\$500 を支払うと生涯会員となれます。

2008 年度からの会費

Categories	国内会員	海外会員	途上国会員
単年度 A 会員	¥9,000	US\$75, €60	US\$45, €36
3 年 A 会員	¥24,000	US\$200, €160	US\$117, €93
単年度 S 会員	¥5,000	US\$40, €32	US\$27, €21
3 年 S 会員	¥12,000	US\$100, €80	US\$71, €57
生涯会員	¥90,000	US\$740, €592	US\$616, €493

**表 f Special fields**

- f-1. Mathematical logic, Set theory, Relative systems, Algebra systems
- f-2. Classical algebra, Number theory, Combinatorics, Cryptology
- f-3. Topology, Geometry, Imaging
- f-4. Real analysis, Complex analysis
- f-5. Functional analysis, Operator theory
- f-6. Differential equations, Integral equations, Functional equation, Numerical analysis
- f-7. Infinite dimensional dynamical systems, Inverse problems
- f-8. Fluid dynamics, Atmospheric research, Rheology, Computer aided design, Control theory, Nanoscience
- f-9. Probability theory, Statistics, Experimental Design, Quality control
- f-10. Operations Research, Decision theory, Queuing theory, Scheduling, Mathematical finance, Mathematical economics
- f-11. Informatics, Pattern recognition, Imaging, Computer science, Computer simulation
- f-12. Biomathematics, Proteomics, Bio informatics, Imaging, System biology, Bioscience
- f-13. Mathematical education, History of mathematics
- f-14. Over several fields (Ex. Fixed point theory)

日本語が出来る方の入会の申込用紙が下のように変更になります。また、英語版も書いて頂くこととなります。近く net 上で申し込み可能となるようにしますので、入会しようとする方はそれをご利用下さい。

### 正会員入会申込書

氏名			英語名	
次の2つのうち会報等を送付先とする方に○を付けてお書き下さい。				
所属先住所	〒			
住所	〒			
専門分野	表 f より選んで○で囲って下さい。 f-1, f-2, f-3, f-4, f-5, f-6, f-7, f-8, f-9, f-10, f-11, f-12, f-13, f-14			
E-mail address			電話番号	
			Fax 番号	
会員区分 該当部分にチェック	<input type="checkbox"/> A1 一般1年 <input type="checkbox"/> A3 一般3年 <input type="checkbox"/> S-A1 高齢者又は学生1年 <input type="checkbox"/> S-A3 高齢者又は学生3年 <input type="checkbox"/> 生涯会員			
所属先の施設	<input type="checkbox"/> ビデオ会議可能 <input type="checkbox"/> 遠隔会議可能 <input type="checkbox"/> コンピューターセンター			
所属先の通信システム	<input type="checkbox"/> ISDN <input type="checkbox"/> IP			
所属大学等が機関会員	<input type="checkbox"/> 会員である <input type="checkbox"/> 会員でない			
SCMJ のプリント版の購入				
<input type="checkbox"/> 希望 1年に付き 1年会員 6,000円、3年会員 5,500円*			<input type="checkbox"/> 希望しない	
高齢会員を申し込む場合	生年月日	学生会員の場合は在学証を添付		
日付				
私は ISMS 会員になり、国際数理学協会に送り状に記載された年会費を払います。ISMS 会員として受け取った Scientiae Mathematicae Japonicae のコピーは個人使用とし、機関、大学または図書館やその他の組織の中に置かず、閲覧目的で会員購読することもしません。			署名	

\*ただし、3年間一括の場合は15,000円です。なお、来年より会費の改定を計画しております。この申込みの内容は会との連絡以外には使用いたしません。

## Application form for an individual member of ISMS

Family Name		First & Middle Name	
Check one of the following addresses to which "Notices from the ISMS" should be sent.			
Address of your institution (university)	<input type="checkbox"/>		
Home address	<input type="checkbox"/>		
Special fields*	f-1 f-2 f-3 f-4 f-5 f-6 f-7 f-8 f-9 f-10 f-11 f-12 f-13 f-14		
E-mail address		Tel.	
		Fax	
Membership category** (Circle one)	A1, A3, SA1, SA3, F1, F3, SF1, SF3, D1, D3, SD1, SD3, AL, FL, DL		
Check the facilities your institution has.	Conference room(s) for video conference Computer center		
Communication system of your institution	<input type="checkbox"/> ISDN <input type="checkbox"/> IP		
Is your institution (university) an Institutional Member of ISMS?	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No		
I subscribe to the printed version of SCMJ.	<input type="checkbox"/> ¥6,000 (US\$60, €48) per year for those members of A1, SA1, F1, and SF1, D1 and SD1. <input type="checkbox"/> ¥5,500 (US\$55, €44) per year for those members of A3, SA3, F3, SF3, D3, SD3, AL, FL, and DL. <input type="checkbox"/> In case A3, SA3, F3, SF3, D3, SD3, AL, FL, or DL members make the payment at a time in advance, the price for 3 years is ¥15,000 (US\$150, €120).		
I wish to enroll as a member of ISMS and will pay to International Society for Mathematical Sciences the annual dues upon presentation of an invoice. Copies of Scientiae Mathematicae Japonicae received as an ISMS member will be for my personal use only and shall not be placed in institutional, university or other libraries or organizations, nor can membership subscriptions be used for library purposes.			
Signature			
For the aged member, write your birth year.		For the student member, student registration certificate should be attached.	
Date of Application			

## ISMS (JAMS の継続) 会員募集

ISMS の出版物: ISMS は、創刊より約 60 年、国際的に高い評価を得ている *Mathematica Japonica* (M.J.) と、その姉妹誌で *電子 Journal と Paper 誌* とを持つ、*Scientiae Mathematicae* (SCM) とを発行してきました。両誌は合併して、“21 世紀 MJ/SCM New Series, *Scientiae Mathematicae Japonicae* (SCMJ)”として、電子版は 2000 年 9 月より発行してきました。印刷版は、1978 年 1 月より、年間 6 冊、700~1200 頁を出版しています。全体として 230 巻を超える、日本で最大量を誇る数理科学の雑誌です。その特長は、下の 1)~7) です。

- 1) Editorial Board には、国内だけでなく、海外 15 カ国の著名な研究者 40 名が参加している。
- 2) 世界の research group に論文が紹介され、積極的な交流が推進されている。
- 3) Editor を窓口として直接論文を投稿できて、迅速な referee 及び出版が得られる。
- 4) 有名な数理科学者の original paper や、研究に役立つ survey が、毎号載せられている。
- 5) SCMJ は、世界の有名数理科学者による、極めて興味ある expository paper を、毎号 International Plaza 欄に掲載している。世界各国の図書館へ、広く配布されている。
- 6) 投稿論文は、accept 後 (又は組版後) 待ち時間 0 で発行されます。
- 7) *Mathematical Review*, *Zentralblatt* に from cover to cover で review されている。

ISMS の研究集会: (1) 研究仲間がゆっくり時間をかけて発表、討論をする、特色ある参集型研究集会が毎年行われ、非会員も含む多数の参加者の、活発な研究交流の場となっている。(2) ISMS には内外の著名な研究者が多数入っており、近いうちに内外を結ぶ高い level の研究会が online で行われる事を期待している。(本誌 45 号 3p 及び Notices March 2006 9p を御参照下さい)

ISMS の学術賞: 会員の優れた論文を広く世界に紹介し、更なる研究を奨励するために、ISMS 賞、JAMS 賞、Shimizu 賞、Kunugui 賞、Kitagawa 賞を設けている。(詳しくは本誌 45 号 2p 会則 13 条を御参照下さい)

< ISMS の会員の特典 > 1. SCMJ 電子版の購読 (print out も含む) 無料。2. SCMJ print 版の少額での購読 (下表 1)。3. Page charge (別刷代金) の discount (下表 2)。

< 機関購読会員の特典 > 1. 機関内の 2 名の方を準会員として会費無料で登録することが出来る。2. 準会員は会員と同じ page charge (別刷代金) の discount を受けることが出来る。

表 1 [雑誌購読費]

	正会員 (1 年)	正会員 (3 年)	機関会員	定価
Print	¥ 6,000 US\$ 60, €48	¥ 5,500* US\$ 55, €44	¥ 33,000 US\$ 300, €240	¥ 45,000 US\$ 400, €320
Online	Free	Free	/	/
Online+print	¥ 6,000 US\$ 60, €48	¥ 5,500 US\$ 55, €44	¥ 33,000 US\$ 300, €240	¥ 45,000 US\$ 400, €320

\*3 年会員のみ、雑誌購読費 3 年前分払いの場合は ¥15,000 になります。

著者の方には、SCMJ を 1 冊送料込みで 1,200 円または US\$ 12 で購入できます。

表 2 [ページチャージ]

		Member/Associate Member	Non Member
Paper	: P	¥3,850 (US\$ 35, €28)	¥ 4,450 (US\$ 43, €35)
Tex	: T	¥2,200 (US\$ 18, €14)	¥ 2,800 (US\$ 26, €21)
Js	: Js	¥ 1,100 (US\$ 8, €7)	¥ 1,700 (US\$ 16, €13)

表 3 [2008 年の会費]

Categories	国内会員	海外会員	途上国会員
単年度 A 会員	¥9,000	US\$ 75, €60	US\$ 45, €36
3 年 A 会員	¥24,000	US\$ 200, €160	US\$ 117, €93
単年度 S 会員	¥5,000	US\$ 40, €32	US\$ 27, €21
3 年 S 会員	¥12,000	US\$ 100, €80	US\$ 71, €57
生涯会員**	¥90,000	US\$ 740, €592	US\$ 616, €493

\*\*過去 10 年以上、正会員であった方に限る。

A 会員は正会員を指し、S 会員は、学生会員と高齢会員(70 歳以上)を指します。

国際数理科学協会

**International Society for Mathematical Sciences**

〒590-0075 堺市堺区南花田口町 2-1-18 新堺東ビル内

Tel: (072)222-1850 / Fax: (072)222-7987

URL: <http://www.jams.or.jp>